



ここを一つに

学校だより

学校教育目標 『日に学び さやかな土合 光る汗』

～土合中は、一生懸命取り組む心豊かなあなたを全力で応援します～

平成29年度 第5号

さいたま市立土合中学校

さいたま市桜区町谷 1-19-1

TEL 048-853-7200

平成29年7月19日発行

心は、見えませんが！

校長 新井 栄司

あちこちから祭りの便りが聞こえてきます。土合中学校区でも7月の土日に夏祭りが各地区で盛大に行われています。それぞれ立派な神輿と威勢の良い掛け声、猛暑の中で人々の心が一つになっているのがよくわかりました。



今年度土合中では、「心豊かな」という文言を随所で使い続けています。生徒はいろいろなところでそれを体現してくれています。改めて「豊かな心とは？」と考えてみますと、『他人を思いやる優しく謙虚な心』『美しいものに素直に感動する心』『自分や他人の良さを知り、違いを認め尊重する心』『命を大切に作る心』などいろいろ考えられます。

ところで、「心」というのはどこにあるのか考えたことがありますか。心臓という臓器があり、また「ハート」とも言われるように、私はずっと胸の辺りにあるものだと思っていました。でも、よくよく考えてみると「頭」の中にあるのかなとも思えてきます。この件に関して、心の場所探しの歴史は古くからあったそうです。たとえば古代ギリシャの哲学者アリストテレスは胸（心臓）にあると考えていました。好きな人を想像して胸がドキドキすることがある、こんなことありますね。医術の祖ともいわれる古代ギリシャのヒポクラテスは脳にあると考えていました。今どんな気持ちなのか、心のありようを一生懸命考えることもありますね。心をめぐって対立する2つの考え方（人間観）は、現在の精神医学にもそのまま反映しているそうです。すなわち現在の精神医学は、「心は脳の産物であり、脳を理解すれば心の病気は治せる」という方向性をとるものと、「心と脳（物質）を同質のものとは見なさず、心の病気は心として治療すべきである」との方向性をとるものとに分かれるようです。心理学、脳科学、哲学、いろいろな考えがあるようです。どちらにせよ「心」は目に見えないものです。また、受け取る人によっても様々なようです。本当に難しいものだと思います。



埼玉県ゆかりの詩人 宮澤 章二氏の『行為の意味』の一節です。

「心」は誰にも見えない。けれど「心遣い」は見える。

「思い」は誰にも見えない。けれど「思いやり」は見える。

あたたかい心も、やさしい思いも、行いによってはじめて見える。

先日行った修学旅行で、こんなことがありました。

①2日目のグループ行動で帰宅時間に数班が雷雨に見舞われました。宿舎で教員も生徒もみんな心配してその帰宅を待っていました。そんな中、バス停まで傘を持って出迎えに行く先生、通りまで迎えに行った先生。びしょぬれになって生徒とともに戻ってきた先生方にただ感謝するのみでした。

②同じ2日目雨が上がり、歩いて「古典鑑賞（狂言）」に出かけることにしました。出発する時、先頭の学級委員が「ここに水たまりがあるから気を付けて！」と声をかけていました。その何気ない一言に、土合中の職員としてとても誇らしい気持ちになりました。

土合中には、仲間を信じ、仲間を大切にしていこうという温かい・豊かな心の持ち主がたくさんいます。

これからも学校・家庭・地域が協力して「心豊かな土合中生」を育ててまいりましょう。

「この世に生きる喜びの一つは、人間の純粋な心にふれることである。」

— 武者小路実篤（日本の小説家、詩人、劇作家、画家 / 1885～1976） —

確かな足跡を残しました…修学旅行（3年）

7月7日（金）から3日間、3年生が修学旅行で京都・奈良方面に行ってきました。実行委員を中心に、「みんなが主役」という基本理念の下、生徒全員が意識を強くもって取り組みました。

私たち赤学年は、スローガンである「大成～向上、そして自立へ～」を掲げ、京都・奈良へ行ってきました。当日は暑さと雷雨に見舞われたため、班活動が予定通りに進まない部分もありましたが、互いに協力することで古都の文化を学び、そして楽しむことができました。今回の修学旅行は集大成として相応しいものになったと思います。しかし、まだゴールではありません。この経験を活かし、これからも学んだ知識と培った絆をさらに深めていきたいです。 修学旅行実行委員長

1・2年生もしっかり行動してきました

7月4日（火）、1年生は川越に、2年生は浅草・上野方面に校外学習で出かけました。両学年とも実行委員会を中心にすべての生徒が役割を分担し、スローガンの達成に向けて意識を強くもって取り組んでいました。3年生の修学旅行に向けて成果と課題をはっきりさせ取り組んでいきます。

≪1年生≫ 一人ひとりが個人テーマの内容を深め、理解ができたと思います。また、集団行動の難しさや大切さを学ぶ良い機会になったと思います。今回学んだことを日々の生活、そして館岩少年自然の教室につなげていきたいです。 実行委員長

≪2年生≫ 今回、私たちは『切磋琢磨』というスローガンに決めました。校外学習を通して、お互いに学び成長しあうことができ、この目標を達成することができたと思います。課題は残りましたが、これは今後改善し、さらなる成長につなげていきたいと思います。 実行委員長

「いじめ撲滅強化月間」の取組から

いじめ撲滅に向けて土合中学校で取り組んでいることを紹介します。

- ①いじめ撲滅のスローガン作成 各学級で作成して掲示しました。
- ②いじめ対策委員会の実施 6月29日（木）に関係者をお招きして実施しました。
- ③生徒会による呼びかけ 全校集会で生徒会長から全生徒へ発信しました。

いじめは人の心に大きな傷を作ります。軽い気持ちでした行動や、冷やかし、からかいによって相手を傷つけているかもしれません。もう一度、今の自分の生活を見直しましょう。そして、大切なのは傍観者にならないことです。もし、自分の周りに苦しんでいる人がいたら一言でもいいので声をかけるようにしてください。その一言が苦しんでいる人を助ける大きな一歩となるかもしれません。また、生徒会本部ではポスターの掲示、小中合同のあいさつ運動等様々な活動を行っています。皆さんもこれを機にいじめについてもう一度考え、思いやりをもった行動を心がけましょう。



多くの目で!

生徒の健全育成を願って、多くの方が力を注いでくれています。

①PTAパトロール(6/30)

今年度より新しい形でのPTAの放課後パトロールが実施されました。当日は保護者・教員併せて5~60名が集まり、3地区6班に分かれてパトロールをしました。

(写真…パトロール終了後の様子)



②学期末あいさつ運動(7/13~20)

1学期末は3学年の保護者があいさつ運動に参加し、生徒会・生活委員会の生徒、教職員とともに元気に声をかけています。登校する生徒もいつもより声が出ていたような気がします。

(写真…正門でのあいさつ運動の様子)

③青少年育成会栄和地区会夜間パトロール(7/14)

土合中・栄和小・上大久保中の教職員とPTA役員、育成会及び浦和西警察新開交番で栄和地区の巡回パトロールをしました。土合地区と中島地区も定期的にパトロールをしてくださっています。



給食試食会を実施しました

7月11日(火)、3年生の修学旅行の振替休業日に合わせてPTA教養委員会主催の「給食試食会」を実施しました。図書室で本校の給食についての説明を聞いた後、3年3組と4組の2教室に分かれて給食の試食会を行いました。

当番にあたっている保護者が手慣れた手つきで盛り付け、参加した保護者の方々は和気あいあいと給食を堪能していました。



みな熱心に耳を傾け、懐かしそうに給食を味わっていました